

手作りお菓子人気

試行錯誤で
多彩な商品

奈良佐保短大生が出店、販売



商品化したバレンタイン用菓子を販売する学生ら＝13日、奈良市二条大路南1のミ・ナーラ

「ミ・ナーラ」のバレンタインフェア

奈良佐保短期大学（奈良市、馬越かよ子学長）生活

未来科食物栄養コースの学生らが13日、同市二条大路南1丁目の大型商業施設「ミ・ナーラ」特設会場で開催中のバレンタインフェアに出店した。ケーキやクッキーなど11種類の手作り

菓子を各約30個販売。来場者の人気を集めた。きょう14日まで。

同コースのフィールド活動の一環。11月下旬から1年生4人が、見た目や味などで試行錯誤しながら製造、販売といった実践活動を学んでいる。

商品は、学生の名前がついたケーキ「TAKAYAロール」（800円、税込み）をはじめ、卒業生や教員が作ったチーズケーキ、ノワゼットシヨコラ（各350円、同）などをそろえた。

娘と一緒にイベント会場を訪れた、五條市の主婦田代扶沙恵さん（40）は「学生の手作りと聞いて買ってみた。平城宮跡で弁当と一緒に食べたい」と笑顔を見せた。

職業訓練で学ぶ1年生の井上怜子さん（35）は、チョコマラーカオを商品化。「中国風蒸しパンをココアと練乳などでアレンジした。頑張って販売したい。学んだことを将来生かせれば」と話した。

午前10時から午後6時開店。ただし商品が売り切れ次第終了する。